

一般財団法人昭瀝記念財団

事業報告

第2期

(2019年7月1日から2020年1月31日まで)

1. 事業の概要

(1) 奨学事業

第1回の奨学生30名に対し、一人当たり月額2.5万円の奨学金を支給した(第2期における支給額:月額2.5万円×30名×7ヶ月=525万円)。

第1回奨学事業 応募・採用状況		
学年	応募者数	採用者数
大学2年生	5名	3名
大学3年生	5名	2名
大学4年生	19名	14名
大学院1年生	5名	4名
大学院2年生	4名	3名
大学院博士後期課程	5名	4名
合計	43名	30名

なお、当該事業の実施に際しては、指定校制を採用し、長岡技術科学大学(新潟県)、日本大学(東京都)、福岡大学(福岡県)、中央大学(東京都)、近畿大学(大阪府)の5校を指定校とし、当該指定校の理工学を学ぶ大学生・大学院生を奨学生の対象とした。

また、奨学生に対する効果測定の一環として、奨学生との交流会を企画・開催し、奨学生に対して指導及び助言を行う機会を設営した。

日時:2019年11月23日(土)12時から16時まで

場所:昭和瀝青工業株式会社 技術センター

参加者:奨学生19名

(2) 助成事業

第1回の研究助成対象として4件を決定した。

1件当たり年間100万円以内の助成金を2020年4月より支給する。

第1回研究助成対象		
氏名	所属機関等	研究題目
小泉 圭吾	大阪大学大学院工学研究科・助教	路面下空洞の陥没危険度評価のための簡易な動的変位測定手法の検討
鍋島 康之	明石工業高等専門学校・都市システム工学科・教授	熔融スラグ混合アスファルトの表面処理による夏季路面温度低下に関する研究
麓 隆行	近畿大学・理工学部・准教授	X線CT画像を用いた排水性アスファルト平板供試体内部の流れに関する考察
山本 亨輔	筑波大学・システム情報系・助教	迅速かつ低コストな車両・橋梁・舗装の同時点検システムの理論構築

(3) 財団の広報活動

当財団の実施する事業が広く一般に認知されるように、ホームページ(<https://www.shoreki.co.jp/zaidan/>)の記載内容の充実を図った。

また、大学関係者に対しては、学内への周知を依頼し、優秀な学生からの奨学生の応募、優秀な研究者からの研究助成の応募が得られるように、積極的に働きかけた。

2. 第2期の会議の開催状況

(1) 第7回理事会・・・2019年8月22日

- ① 2018年度(第1期)事業報告及び決算の承認・・・承認可決
- ② 内部規程の承認・・・承認可決
寄附金等取扱規程、個人情報取扱規程、経理規程
- ③ 公益認定申請書類の承認・・・承認可決
- ④ 第3回評議員会の招集・・・承認可決

(2) 第3回評議員会・・・2019年9月13日

- ① 2018年度(第1期)決算の承認・・・承認可決
- ② 定款変更の承認・・・承認可決

(3) 第8回理事会(決議の省略の方法による)・・・2019年9月20日

- ① 研究助成選考委員の選任・・・承認

(4) 第1回研究助成選考委員会・・・2020年1月20日

- ① 2020年度研究助成金選考基準の承認・・・承認可決
- ② 2020年度研究助成金助成対象者の選考・・・承認可決

(5) 第9回理事会(決議の省略の方法による)・・・2020年1月27日

- ① 2020年度研究助成対象の承認・・・承認

以 上

一般財団法人昭歴記念財団

事業報告の附属明細書

第2期

(2019年7月1日から2020年1月31日まで)

第2期事業報告において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。